

平成25年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	環境造形の研究—大学の森における身体とランドスケープをテーマとした実験的空間創出の試みと造形を通じた環境教育の展開—		
プロジェクト期間	平成25年度～平成26年度		
申請代表者 (所属講座等)	阿部守 (美術教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	
取組方法・取組実績の概要	<p>本学キャンパス内の森をサイトとして、場の分析を経て、環境造形の実践的展開を図ることをテーマとし、展開している。季節ごとに森の表情は変化し、風・音・地面の感触・土の匂いなど、それらは1日として同じ日はなく、豊かで清々しい表情をもつ。この森との関わりも既に30年余りが経過し、最近、近くに建物が建設され、一時はどうなることかと案じたがそれなりに観察できる環境は維持されている。この森を研究の対象として、さらにその空間的魅力を引き出すことを主眼としたものがこのプロジェクトである。多くの公園がランドスケープ・デザインをベースにした庭園や遊具を用いて空間演出するが、ここではそのようなコンセプトは避け、森の表情を視覚のみならず五感で味わうことのできるランドスケープ・デザインを自然の環境を活かしながら創造することにし、造形リテラシーの確立を目指すものである。</p>		
研究成果の概要	<div style="text-align: center;">  </div> <p>■2013年10月 本プロジェクト実施のための試みとして、熊本県高森町のフォークスクールに「風の木魂」を制作</p> <p>研究対象として選んだ森のサイトは、城山の尾根として、山頂と赤間の通称メインストリートに繋がる地形に位置する。メインストリートが尾根の延長として認識できるのは道路が高い位置に作られ、両側は低地になっていることから想像できる。この森は人工的によく管理されつつも自然の植生や四季の昆虫などにそこが原生林と言わぬまでもある程度自然環境が維持されていることが分かる。この環境をどのように読み解き、造形リテラシーとしての文脈を構築し、今日の環境造形の確固たる造形理念の創造に資することを目的としている。</p> <p>学生指導にとって身近な場所で、教育研究に立ち会える点にメリットがあり、研究の方法と結果を学内はじめ、広く地域に発信することができる点が期待できる。</p>		

	<p>また、図工科・美術科の今日的課題である、どのように環境をテーマとした題材設定ができるか、という美術教育の問題解決に資する内容を多く含んでいる。2年目において、実際に児童・生徒をサイトに招き、授業実践を行う計画である。本学の目指す<地域連携>を促進する方向性と重ねている点も上げられよう。</p> <p>本年度に取り組んだ主な内容は、以下である。</p> <p>I. 森の観察マップ作りープロジェクトの根幹を成す地図づくり。</p> <p>様々な基本情報を収集し、地図を入念に読み込み、さらにKJ法などを応用し、何種類かの情報マップを作成する。五感マップー鳥や動物の視点からのマップ・色彩マップ・テクスチャーマップ・嗅覚マップなど</p> <p>II. 時間的要素、すなわちこの森の歴史を読み取る作業</p> <p>III. 上記の2つの段階を総合させ複合した地図を作成</p> <p>本年度は、実際の調査研究は実施不可能であった。今後、北海道 札幌モエレ沼公園/美唄市 アルテピアッツァ美唄/音威子府村 アトリエ3モアを調査研究の予定。本年度は、文献資料・画像の分類作業。</p> <p>IV. CLIMATEを読み解くプロセスを経て、具体的なオブジェ制作のためのアイディアスケッチの展開</p> <p>V. 制作の展開</p> <p>前掲の写真は、次年度の取り組みへの、ウォーミングアップとして、実際にサイトスペースフィックを基本コンセプトとして、熊本県高森町の分校跡地に設置した。</p> <p>VI. 「造形あそび」への応用と実践</p> <p>VII. 論文及び研究発表</p>
--	--

外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について [(該当事項) にチェック方願います。]

外部資金獲得申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会 (国内・国外): <input checked="" type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等: <input type="checkbox"/> その他:
---------------	---	----------------	--